



都道府県、政令市、中核市ごとのランキング公開
大阪府議会、堺市議会、大津市議会がトップ 関西の議会が上位
「議会改革度調査 2017」ランキング 早稲田大学マニフェスト研究所調べ

地方から政治を変える取り組みを行う早稲田大学マニフェスト研究所は6月8日、2017年度「議会改革度調査」ランキングのうち、都道府県、政令市、中核市のランキングを公開しました。

調査結果から、それぞれ大阪府議会、堺市議会、大津市議会がトップとなり、各ランキングでも関西の自治体議会が上位を占めました。

なお、都道府県内の自治体ランキングと市区町村別は、6/11以降に公開いたします。



▽以下の URL からご覧ください

- 都道府県 : http://www.maniken.jp/gikai/2017rank_pref.pdf
- 政令市 : http://www.maniken.jp/gikai/2017rank_seirei.pdf
- 中核市 : http://www.maniken.jp/gikai/2017rank_chuukaku.pdf

▼各ランキング TOP5 ※カッコ内は前年比/総合順位。中核市の八尾市は2018年4月に中核市移行のため前年比はなし

□都道府県 (47 団体)	前年比/総合順位	□政令市 (20 市)	前年比/総合順位	□中核市 (54 市)	前年比/総合順位
1 位 大阪府議会	(0/3 位)	1 位 堺市議会	(0/9 位)	1 位 大津市議会	(0/2 位)
2 位 兵庫県議会	(0/14 位)	2 位 京都市会	(0/31 位)	2 位 八尾市議会	(-/30 位)
3 位 鳥取県議会	(0/16 位)	3 位 大阪市会	(+17/42 位)	3 位 横須賀市議会	(0/34 位)
4 位 三重県議議会	(0/28 位)	4 位 神戸市会	(-1/82 位)	4 位 那覇市議会	(+2/44 位)
5 位 京都府議会	(0/41 位)	5 位 新潟市議会	(-1/114 位)	5 位 大分市議会	(-1/46 位)
6 位 徳島県議会	(+3/61 位)	6 位 名古屋市会	(+6/121 位)	6 位 呉市議会	(-4/55 位)
7 位 宮城県議会	(-1/64 位)	7 位 横浜市会	(0/174 位)	7 位 下関市議会	(0/97 位)
8 位 滋賀県議会	(-1/67 位)	8 位 川崎市議会	(+1/176 位)	8 位 枚方市議会	(-3/105 位)
9 位 岩手県議会	(-1/81 位)	9 位 相模原市議会	(-3/186 位)	9 位 長野市議会	(+1/130 位)
10 位 富山県議会	(+9/88 位)	10 位 静岡市議会	(-5/198 位)	10 位 松山市議会	(+1/146 位)

※川口市議会のみ回答なし

■自治体区分別の特徴

▽都道府県：大阪府議会が2年連続トップ、富山県議会が10位に

大阪府議会が2年連続トップ。「情報共有」「住民参加」「機能強化」いずれの分野も1位となった。

上位5位までが昨年と同じ顔ぶれの一方で、政務活動費の不祥事で注目を集めた富山県議会は、政務活動費領収書のネット公開、議会基本条例の制定が進み10位にランクイン。

昨年の都議選で都民ファーストが躍進した東京都議会は改革が進むと期待されたが、議員提案条例「東京都子どもを受動喫煙から守る条例」の制定などの推進で34位と、2つ順位を上げただけに留まった。

≫次ページで政令指定都市、中核市の特徴などをご紹介します

◇ 今後、「議会改革度調査 2017」の新たな情報は下記早大マニ研 HP で公開します。 ページ 1/2

<お問合せ先> 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局：担当 永尾、青木
TEL：03-6214-1315 E-MAIL：mani@maniken.jp HP：http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku

»前ページから続く (ページ 2/2)

▽政令指定都市：堺市議会が3年連続トップ。大阪市会が急上昇

堺市議会が3年連続トップ。議会機能の強化及び活性化を図る「議会力向上会議」で議会改革を継続的に推進。堺市議会業務継続計画も新たに策定した。

3位の大阪市会は、昨年の最下位から大幅に飛躍。実行計画「議会改革推進会議議題一覧」で着々と改革を進めるとともに「高校生と大阪市会議員の意見交換会」を新たに開催。アンケート結果で高校生から高い評価を受けた。

▽中核市：大津市議会が3年連続トップ、中核市へ移行した八尾市が2位に

マニフェスト大賞を複数回受賞している大津市議会が今年もトップ。大学との連携による外部知見導入による政策立案機能の強化と議会版実行計画「大津市議会ミッションロードマップ」によるPDCAサイクルを確立している。

八尾市は2位にランクイン。委員会ごとに、議案審査以外で独自テーマを定め調査を行い委員会提言として市長に提出。執行部からの回答をホームページで公開している。

▼議会改革度調査 2017 について

【調査概要】 2018年2月下旬にメールや郵送で調査依頼を全地方議会に送付し、1,318議会が回答。(回答率74%)。2010年度から今回で8回目の調査となる。

【調査目的】

- (1) 全国の議会改革がどのような状況・傾向にあるか、確認する指標として活用する。
- (2) 議会自身が改革度を数値で把握することで自己評価や改善をし、善い政治を競う「善政競争」を促す。

【調査の観点】 議会が果たすべき役割として3つの柱をあげ、改革度を数値化し、ランキング化した。

- (1) 情報共有 (本会議などの議事録や交際費・視察結果の公開具合と検証)
- (2) 住民参加 (傍聴のしやすさ、議会報告会などの実施、住民意見の聴取)
- (3) 議会機能強化 (議会本来の権限・能力を発揮するための機能強化状況)

»詳細: <http://www.maniken.jp/gikai/2017gaiyo.pdf>

◀取材のお願い▶

7月11日～12日早稲田大学 「全国地方議会サミット 2018 議会のチカラで日本創生」

1,000人の議員・事務局が一堂に会し「地方議会から日本を変える」ための場面転換をこの場から。
野田総務相、片山元総務相、先進議会の議長が多数参加します。取材のお申込はメールでも可です。

【日時】7月11日(水) 13:00～17:30
12日(木) 09:30～16:00

【場所】早稲田大学大隈記念大講堂

【対象】議会議員、議会事務局職員、一般
総計1,000名

【主催】ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟、マニフェスト大賞実行委員会 【共催】早稲田大学マニフェスト研究所
»詳細はこちら <http://www.local-manifesto.jp/gikaigiin/>



◇ 今後、「議会改革度調査 2017」の新たな情報は下記早大マニ研 HP で公開します。 ページ 2/2

<お問合せ先> 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局：担当 永尾、青木
TEL：03-6214-1315 E-MAIL：mani@maniken.jp HP：http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku